

非常通信訓練コンテストにおける zLog for Windows の利用方法について

JARL 神奈川県支部コンテスト委員会

2016.11.11

当支部主催の非常通信訓練コンテストにおいて、コンテスト専用ログインソフトウェア「zLog for Windows」を使用する際の設定および電子メール提出用の書類作成方法について紹介します。

なお、「zLog for Windows」ソフトウェア自身の入手や一般的な使用方法については、zLog 公式ホームページ（<http://www.zlog.org/>）を参照してください。

また、現在公開されている最新の「**zLog for Win ver 2.2e (Full set) (Win98/ME/2000/XP 用 USB 対応)**」は、Windows7、8、8.1 の各 32bit 版 OS では動作するようですが、各 64bit 版 OS では、プログラムを実行するとブルースクリーン現象が発生するなど、動作しない場合があることが確認されています。

一つ前のバージョンとして公開されている「**zLog for Win ver 2.1s95 (Full set) Windows95 専用(USB 未対応)**」については、Windows7、8、8.1 の各 64bit 版 OS でも動作する場合があることも確認されています。

ただし、後者の「USB 未対応版」では、「USBIF4CW」（<http://nksg.net/usbif4cw/>）を PC に接続しての送信機の PTT コントロールなどは利用できません。

さらにコンテスト終了後に電子メール提出用の書類ファイルを作成する場合、「**zLog for Win ver 2.2e (Full set) (Win98/ME/2000/XP 用 USB 対応)**」を使用している場合は、以下の説明のステップ 10～13 のようにして zLog 本体のファイルメニューから直接作成できますが、「**zLog for Win ver 2.1s95 (Full set) Windows95 専用(USB 未対応)**」を使用している場合は、別途配布されている「**ZPRINT for Win ver 1.3a ログ・サマリー印刷 JARL 電子ログ対応版**」を利用して、以下の説明のステップ 14～16 の手順で電子メール提出用書類を作成する必要があります。

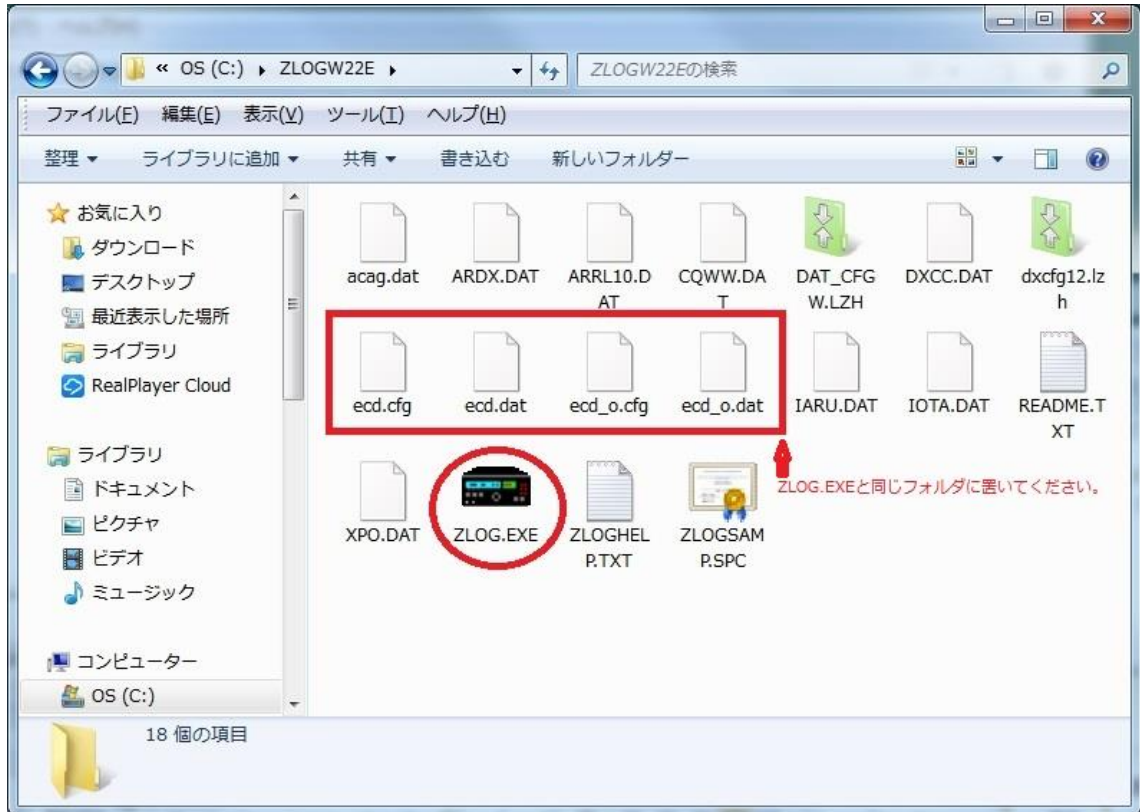
【非常通信訓練コンテストでの zLog for Windows の標準的な設定および利用方法】

1. 「zLog for Windows」 向けの非常通信訓練コンテスト用設定ファイルの最新版

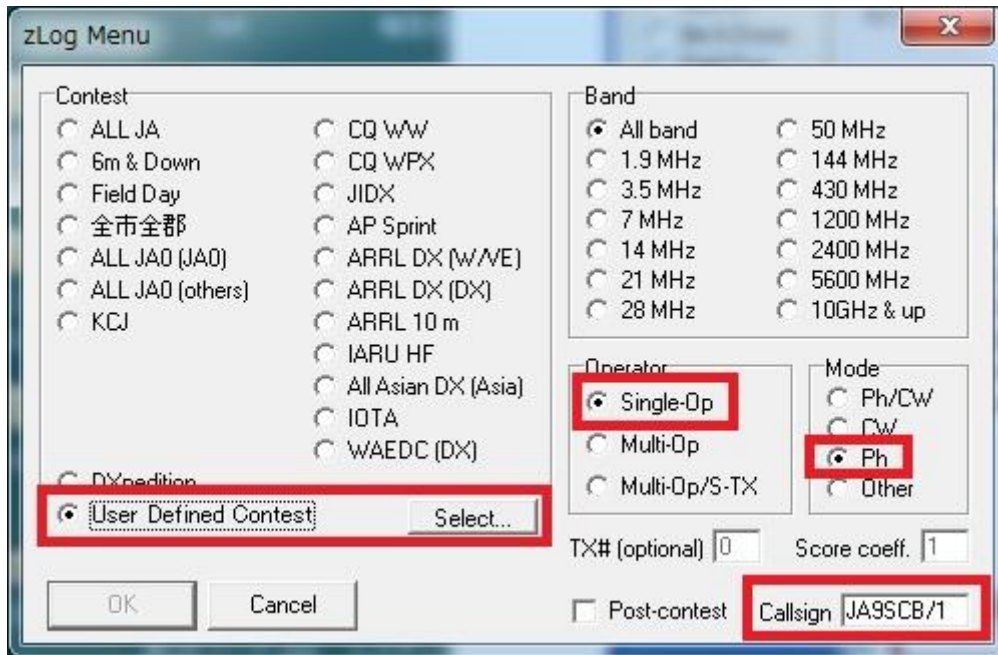
- ・ 県内局向け： ECD.CFG および ECD.DAT
- ・ 県外局向け： ECD_O.CFG および ECD_O.DAT

を下記の当支部のコンテスト規約ページから入手し、別途入手して展開した「zLog for Windows」のインストール先フォルダ（ZLOG.EXE と同じフォルダ）内に置きます。

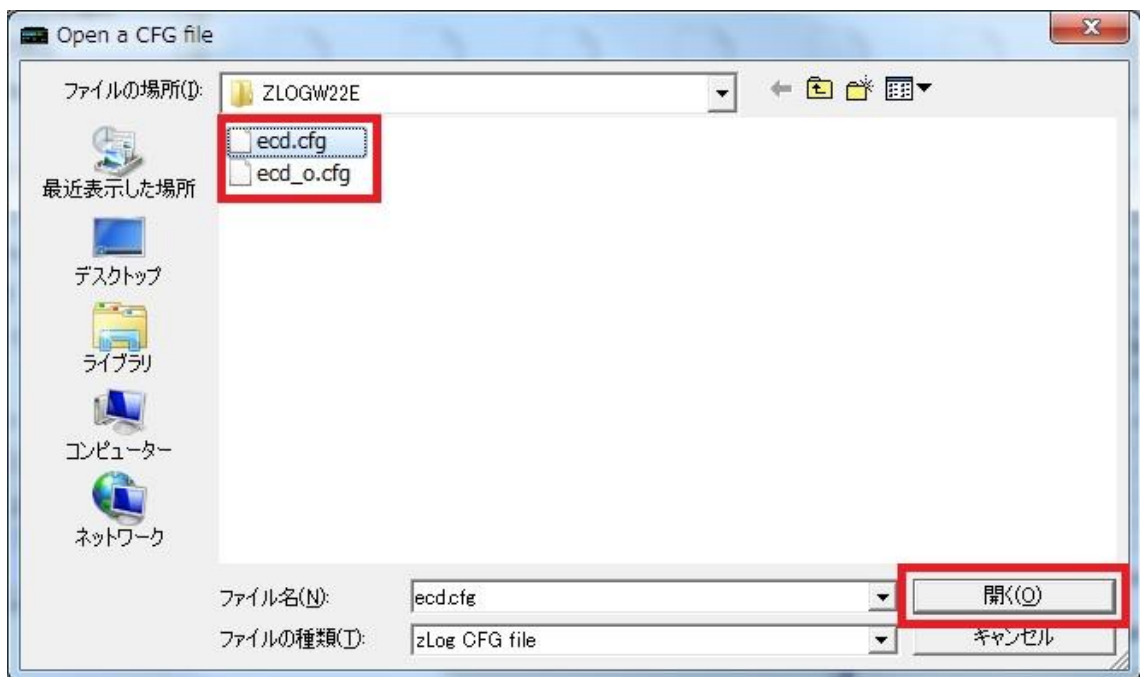
- ・ 当支部のコンテスト規約ページ：http://www.jarlkn.info/award_contest/index4.html



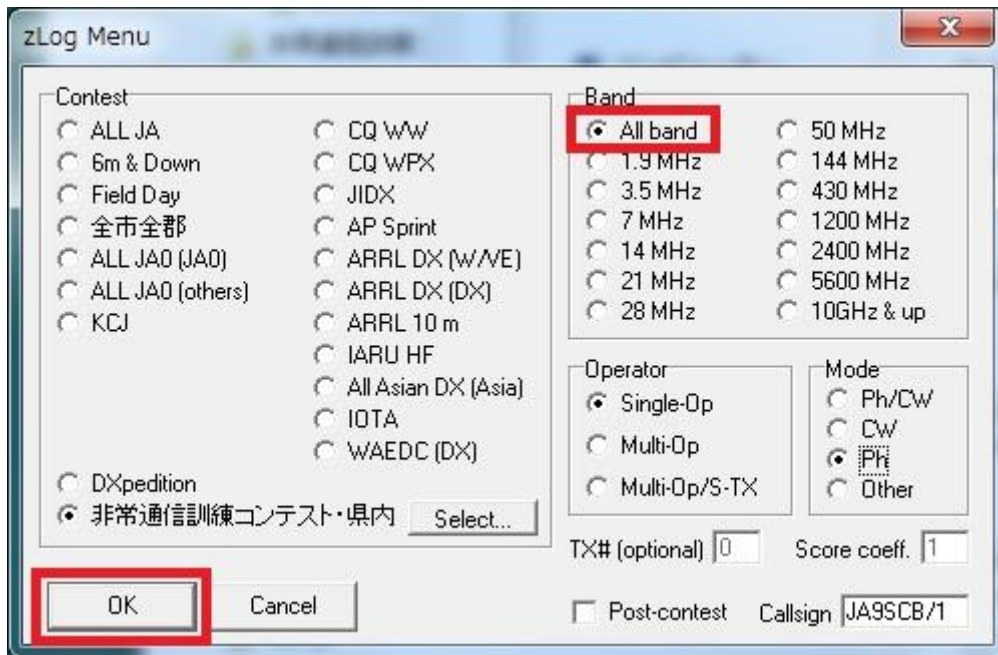
2. ZLOG.EXE を実行し、表示される zLog Menu 画面において、Operator 欄は「Single-Op」、Mode 欄は「Ph」を選択し、Callsign 欄に自局のコールサインを設定します。次に「User Defined Contest」を選択して【Select...】ボタンを押します。



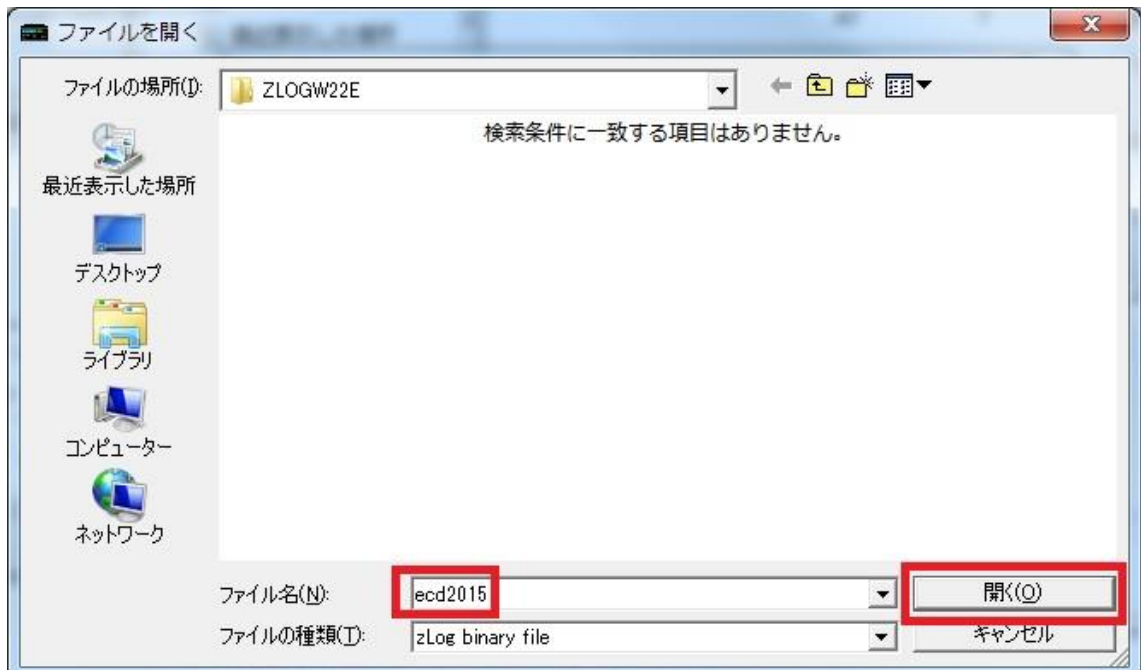
3. 表示される Open a CFG file 画面で、
- ・ 県内局は ECD.CFG
 - ・ 県外局は ECD_O.CFG
- を選択して【開く(O)】ボタンを押します。



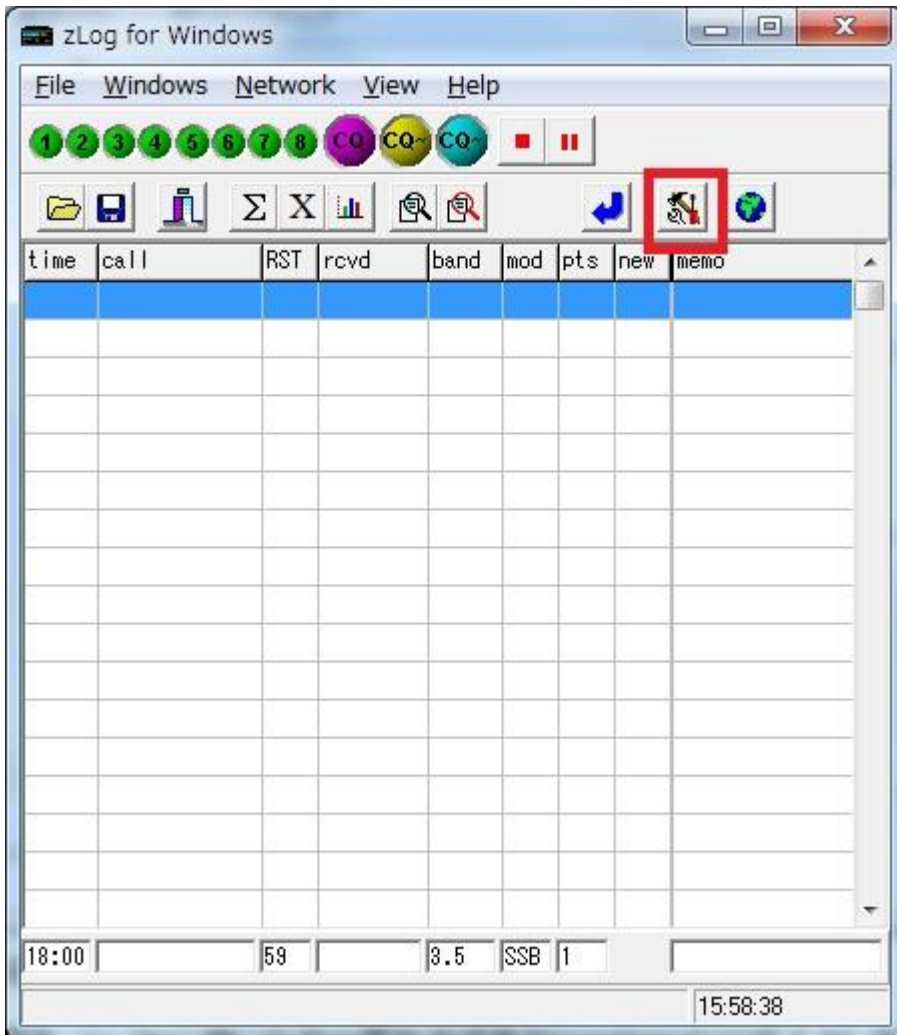
4. zLog Menu 画面の Band 欄では、シングルバンド種目に参加する局は、該当の「周波数帯」を、その他のオールバンド、HF-Low バンド、HF-High バンド、VHF バンド、UHF バンド種目など 2 つ以上のバンドで運用して参加する場合は、「All band」を選択してから、【OK】ボタンを押します。



5. 次に表示される「ファイルを開く」画面では、既存のログファイル (*.zlo) もしくは、新たに作成するログファイルの名前 (例:「ecd2015」) を「ファイル名(N)」欄に入力して、【開く(O)】ボタンを押します。

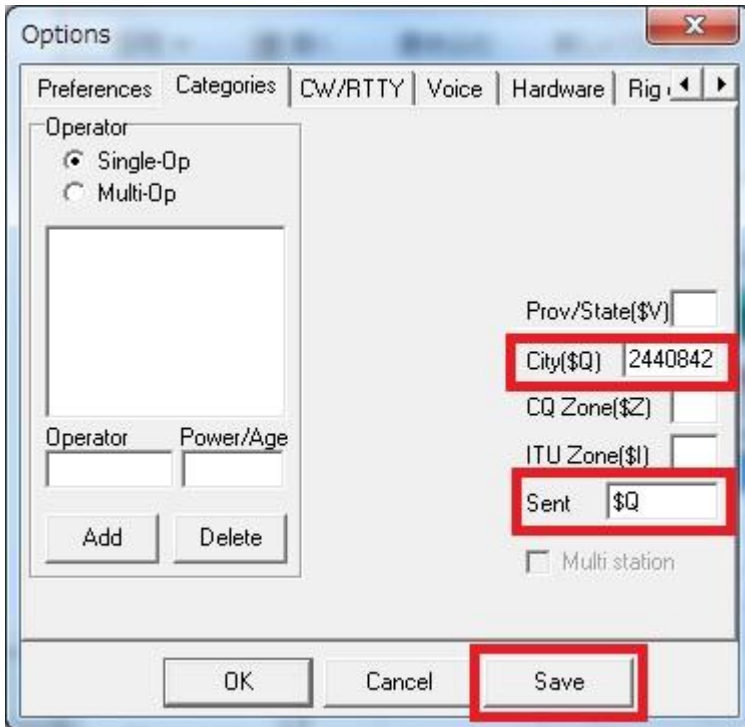


6. 表示される zLog for Windows メイン画面のメニューバーの 2 段下にあるボタン群の右から 2 つ目のボタンを押し、Option 設定画面を開きます。

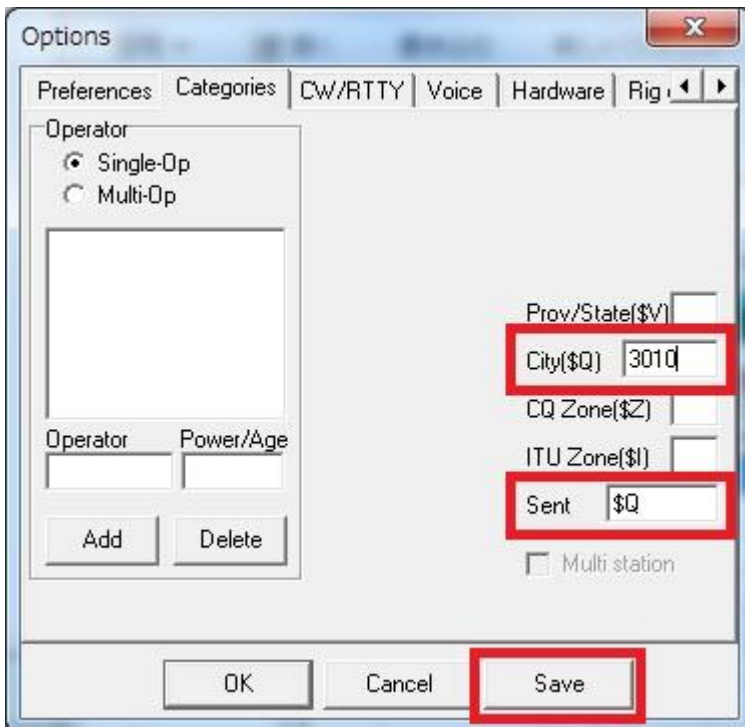


7. Option 画面の左から 2 つ目の Categories タブを選択し、
- ・ 県内局は、City(\$Q) 欄に自局が運用する場所の郵便番号 (例：2440842)
 - ・ 県外局は、City(\$Q) 欄に自局が運用する場所の市郡区番号 (例：3010)
- を入力し、Sent 欄が「\$Q」と設定されていることを確認します。
設定を反映するため、必ず【Save】ボタンを押したあと、【OK】ボタンを押します。

県内局向け Categories 設定例（自局の運用場所が「横浜市栄区飯島町」の場合）



県外局向け Categories 設定例（自局の運用場所が「石川県白山市」の場合）

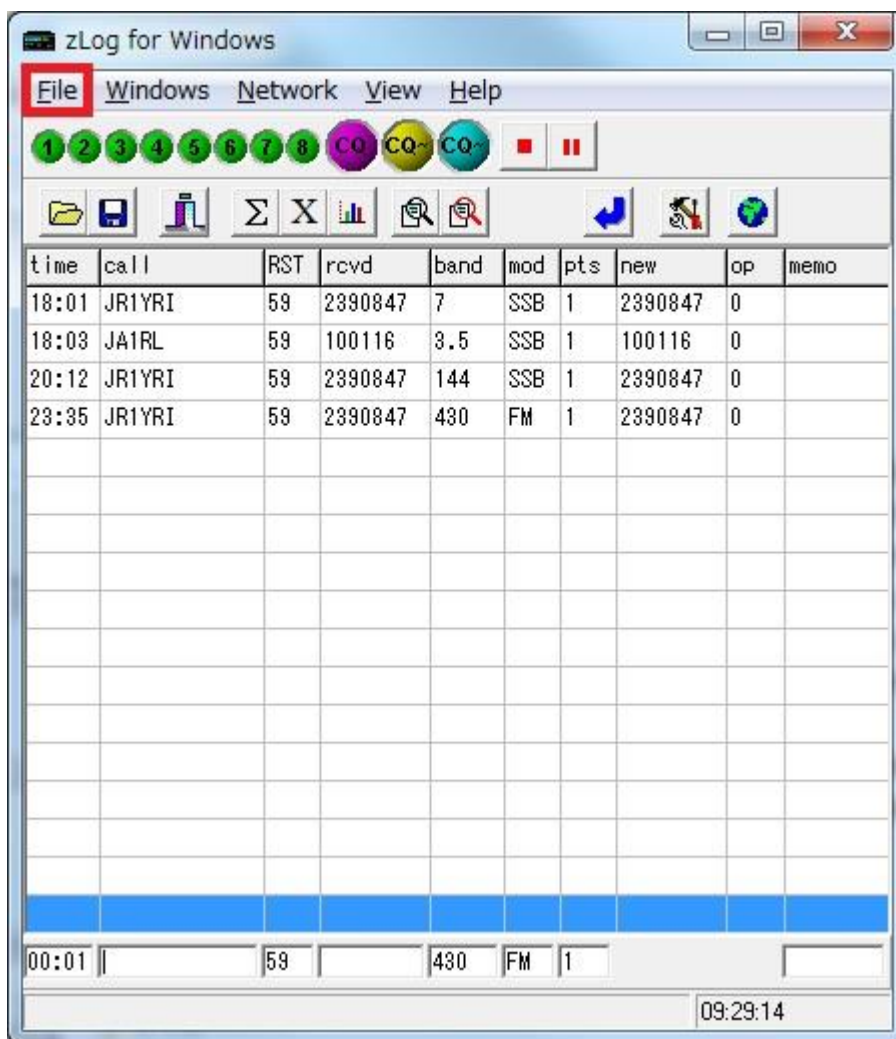


8. zLog for Windows メイン画面に戻り、交信内容のロギングを開始します。
なお、非常通信訓練コンテストでは県外局同士の交信は無効（0点）と規定されていますが、上記のステップ3で県外参加局が ECD_O.CFG を選択すれば、県外参加局が県外局と交信した場合もロギング可能となっています。このような県外局同士の交信は、自動的に得点が0点となり、またマルチもカウントされない設定となっています。

9. コンテスト終了後、電子メールで提出する書類を作成する場合、「**zLog for Win ver 2.2e (Full set) (Win98/ME/2000/XP 用 USB 対応)**」を使用している場合は、以下のステップ10～13に進んでください。
また、「**zLog for Win ver 2.1s95 (Full set) Windows95 専用(USB 未対応)**」を使用している場合は、「zLog for Windows」のメイン画面のファイルメニューから「Save」を選んでログファイルの保存を行った後に、一旦「zLog for Windows」を終了してください。次に「**ZPRINT for Win ver 1.3a ログ・サマリー印刷 JARL 電子ログ対応版**」を入手して圧縮ファイルを展開し、展開されたファイルを「zLog for Windows」のインストール先フォルダ（ZLOG.EXE と同じフォルダ）内に置き、以下のステップ14～16に進んでください。

【「zLog for Win ver 2.2e (Full set) (Win98/ME/2000/XP 用 USB 対応)」使用の場合】

- 1 0. zLog for Windows メイン画面の「File」メニューをクリックし、「Create E-Log (JARL)」を選び、E-Log (Japanese)画面を開きます。



- 1 1. E-Log (Japanese)画面の「コンテスト名称」、「参加種目コード」、「参加種目名称」の各欄には非常通信訓練コンテスト規約に沿った内容を、また「コールサイン」欄には参加局のコールサインを、「運用地」欄には運用場所を記入してください。

なお社団局からのシングルオペレーター参加や参加局の免許人以外がゲストオペレーターで参加された場合には、オペレーターのコールサインもしくは氏名を「運用者のコールサイン (シングルオペで上記と異なる場合)」欄に記入してください。

以下、その他の記入欄にも適宜該当の内容を記入してください。この際、「登録クラブ番号」、「登録クラブ名称」欄は空白で構いません。

最後に「宣誓文」欄では『JARL 制定のコンテスト規約』と記載されている部分を『非常通信訓練コンテスト規約』と書き換え、「日付」欄、「署名」欄を記入した後、【E-log 作成】ボタンを押してください。

E-Log (Japanese)

コンテストの名称

参加種目コード 参加種目名称

コールサイン

運用者のコールサイン(シングルオペで上記と異なる場合)

局種係数(フィールドデー)

連絡先住所 (5行まで)
〒244-0842
神奈川県横浜市栄区飯島町2070-16

電話番号

局免許者の氏名(団体の名称)

E-mailアドレス

局免許者の無線従事者資格

コンテスト中使用した最大空中線電力(W) 定格 実測

運用地 使用した電源

使用した設備(リグ名称(自作の場合は終段管名称・個数)、空中線) (5行まで)

意見(10行まで)

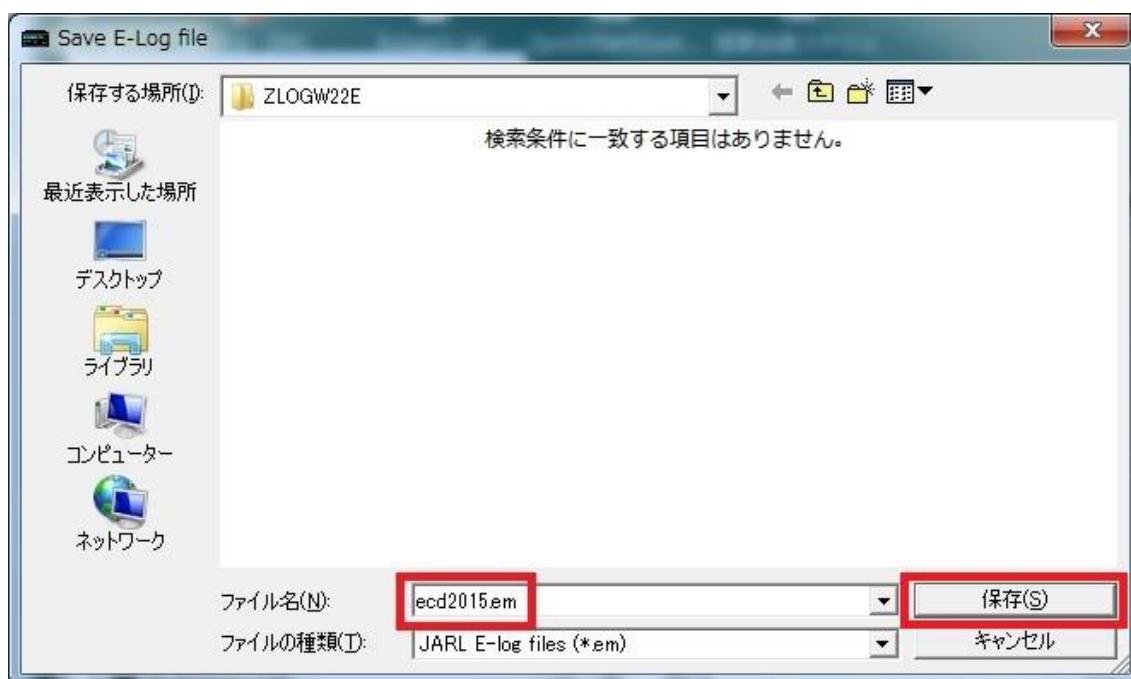
登録クラブ番号

登録クラブ名称

宣誓文
私は、および電波法令にしたがい運用した結果、ここに提出するログシートおよびコンシートなどが事実と相違ないものであることを、私の名譽において誓います。

日付 署名

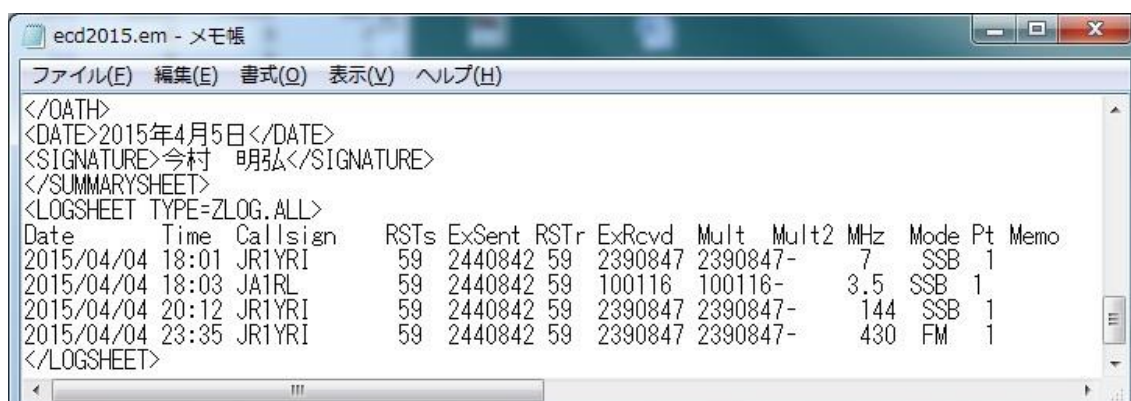
- 1 2. 次に表示される「Save E-Log file」画面では、保存する電子メール提出用書類ファイル名（例：「ecd2015.em」）を「ファイル名(N)」欄に入力して、【保存(S)】ボタンを押します。



- 1 3. 保存された電子メール提出用書類ファイルは、テキストファイルですので、Windows 標準のメモ帳や任意のテキストエディタで内容を確認、修正できます。

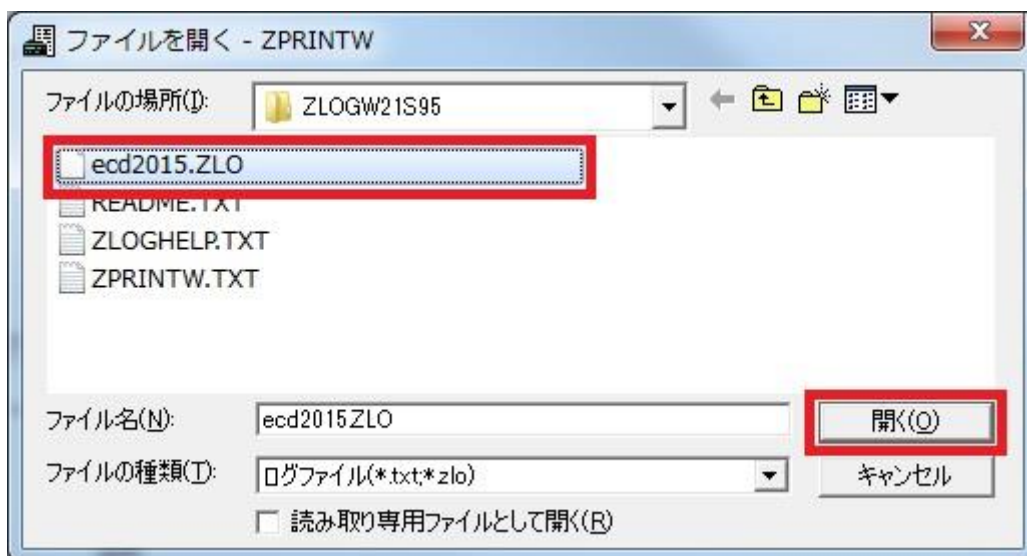
なお保存した電子メール提出用書類ファイルをテキストエディタで確認した場合、以下のように LOGSHEET 部分で周波数や Mode、ポイント部分が桁ズレしている場合があるかもしれません。これは「zLog for Windows」が、受信マルチナンバーの 7 桁目を第 2 マルチ桁部分に記載する仕様となっているためです。このような場合でも、審査には問題ありませんので、桁位置を合わせるような編集はしないで結構です。

最後に書類の電子メール提出をステップ 1 7 に沿って行ってください。



【「zLog for Win ver 2.1s95 (Full set) Windows95 専用(USB 未対応)」使用の場合】

- 1 4. 「ZPRINTW.EXE」を実行し、表示される「ファイルを開く-ZPRINTW 画面」において、ステップ9で保存したログファイルを選択して【開く(O)】ボタンを押します。



- 1 5. 「ZPRINTW」メイン画面では、上部のログシートブロックでは「JST」を選択し、「西暦」、「コンテスト名」、参加局の「コールサイン」を入力してください。

次にその下のサマリーシートブロックでは、「サマリーシートを作成する」にチェックを入れ、「コンテストの名称」、「参加部門および種目等」の「コードナンバー」、「名称」の各欄には非常通信訓練コンテスト規約に沿った内容を、また「コールサイン」欄には参加局のコールサインを、「移動先」欄には運用場所を記入してください。

なお社団局からのシングルオペレーター参加や参加局の免許人以外がゲストオペレーターで参加された場合には、オペレーターのコールサインもしくは氏名を「運用者のコールサイン（シングルオペで上記と異なる場合）」欄に記入してください。

以下、その他の記入欄にも適宜該当の内容を記入してください。この際、「登録クラブ番号」、「登録クラブ名称」欄は空白で構いません。

最後に「宣誓文」欄では『JARL 制定のコンテスト規約』と記載されている部分を『非常通信訓練コンテスト規約』と書き換え、「誓約日」欄、「署名」欄を記入した後、メニューバーの下にある左から 3 つ目の【保存】ボタンを押してください。

これで、ステップ 1 4 で選択したファイル名の拡張子が「.em」となったファイル（上記の場合は：「ecd2015.em」）が電子メール提出用書類ファイルとして作成されます。

ecd2015 - ZPRINTW

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 項目(I) 設定(S) ヘルプ(H)

ログシート JST
 UTC

西暦

コンテスト名

コールサイン

サマリーシート
 サマリーシートを作成する

ヘッダ

コンテストの名称

参加部門及び種目等

コードナンバー	名称
<input type="text" value="KA"/>	<input type="text" value="県内・オールバンド"/>

コールサイン

運用者のコールサイン
(シングルオペで上記と異なる場合)

住所 〒

Tel.

氏名(社団の名称)

E-mail

無線従事者の資格

登録クラブ番号

登録クラブ名称

コンテスト中使用了
 最大空中線電力 W

定格出力
 実測出力

移動先

移動先の使用電源

ページ NUM

ecd2015 - ZPRINTW

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 項目(I) 設定(S) ヘルプ(H)

コンテスト中を使用した
 最大空中線電力 W

移動先

定格出力
 実測出力

移動先の使用電源

使用した設備

意見欄

電子ログ提出用:意見と運用者リストの区別のため、運用者リスト部分は[[と]]で囲んでください

誓約日

署名

(電子ログ提出用)

誓約文

郵便番号

宛先

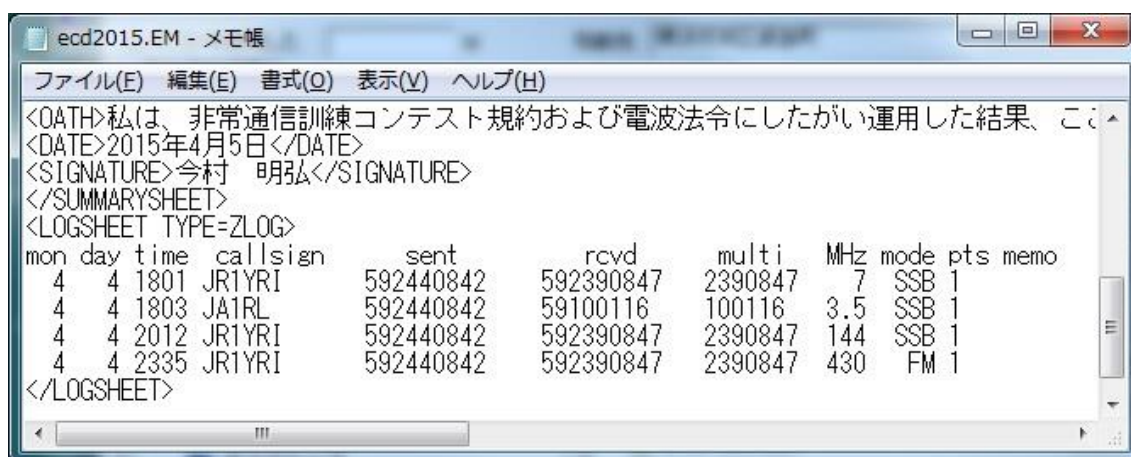
コールサイン

氏名

差し出し人

デイ NUM

16. 保存された電子メール提出用書類ファイルは、テキストファイルですので、Windows 標準のメモ帳や任意のテキストエディタで内容を確認、修正できます。
- なお保存した電子メール提出用書類ファイルをテキストエディタで確認した場合、以下のように LOGSHEET 部分が、上記のステップ 13 の例とは違った形式になっていますが、審査には問題ありませんので、このまま書類の電子メール提出をステップ 17 に沿って行ってください。



```
ecd2015.EM - メモ帳
ファイル(E) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
<OATH>私は、非常通信訓練コンテスト規約および電波法令にしたがい運用した結果、こ
<DATE>2015年4月5日</DATE>
<SIGNATURE>今村 明弘</SIGNATURE>
</SUMMARYSHEET>
<LOGSHEET TYPE=ZLOG>
mon day time callsign      sent      rcvd      multi    MHz mode pts memo
4   4 1801 JR1YRI      592440842 592390847 2390847  7  SSB 1
4   4 1803 JA1RL      592440842 59100116  100116  3.5 SSB 1
4   4 2012 JR1YRI      592440842 592390847 2390847 144 SSB 1
4   4 2335 JR1YRI      592440842 592390847 2390847 430  FM 1
</LOGSHEET>
```

17. 電子メールで提出する場合は、お使いの電子メールソフトを起動して新規メール作成を行い、
- ・送信先メールアドレス：jn1dny@jarl.com
 - ・送信件 (Subject) 名：エントリーするコールサイン (例：JA9SCB/1)
- と設定し、保存した電子メール提出用書類ファイルの内容をメール本文に貼り付けるか、ファイルをメールの添付ファイルとして、送信してください。

(以上)